

地域の実情と課題

女性の就業率・正規雇用割合が高い反面、管理職比率は低く、男性中心の労働環境が根強く残り、家庭において男性の家事・育児参画時間が短い。

従業員のワーク・ライフ・バランスや産休育休等の取得後も継続してキャリアを実現できる職場環境を整備するためには、職場の働き方の見直しや意識改革を行う管理職である「イクボス」の存在・推進は必要不可欠である。

事業の特徴

新しい働き方やワーク・ライフ・バランスの実現を考えるとともに企業全体にイクボスの考え方を浸透させることを目的にイクボスデーを開催し、基調講演とゲストリレートークを行った。

ゲストリレートークでは、県外先進企業2社のイクボスに関する取り組みや事例等を管理職・経営者の視点から紹介し、企業における業務の課題解決方法について考える機会を提供した。

事業の効果

イクボスデーでは職場の働き方の見直しや意識改革に取り組みたい企業にイクボス推進事業に取り組むきっかけを提供し、また事業番号②のアドバイザー派遣事業では、各企業の課題に沿った個別にアドバイザーを個別に派遣することで、市内企業にイクボスの考え方や実践方法が浸透する後押しとなっている。

目的・目標

本市の実情と課題を踏まえ、イクボスを普及・推進しイクボス宣言企業の増加を目指す。

■市内のイクボス宣言企業 目標 80企業(R5末で70社)

連携団体

■市内のイクボス宣言企業(事業所単位) 70社(R5年度末時点)

今後の課題

企業が抱える課題やニーズを把握し、働き方改革や女性活躍の取り組みを後押しする事業を継続して実施していく必要がある。

イクボスデー

令和5年度イクボス推進事業のキックオフとして、新しい働き方やワーク・ライフ・バランスの実現を考えるイベントを実施。

8月3日(木)

①基調講演「イクボス推進で人材育成—経営の活性化のために」

イクボスの推進や企業コンサルを専門とする講師を招き、「働きたい職場・働き続けたい職場」について実際の業務を例に挙げて解説した。

②ゲストリレートーク

働き方改革が進む県外先進企業2社(株式会社能作、株式会社甲賀協同ガス)の経営者・管理職を招き、それぞれの企業でのイクボス推進の取り組みを紹介、会社・組織・社員への思いを語った。



▲報告書の作成・配布(新規啓発)